

令和5年度 学校評価

島根県立浜田商業高等学校

令和5年度 重点目標	具体的取組事項	評価指標 (学校評価アンケート以外)	自己評価	次年度に向けての改善方針	関係者評価			外部評価		学校運営協議会 意見・感想
					評価 平均	R5	R4	R5	R4	
(1) 主体的・対話的で深い学びのための授業改善に取り組み、評価を工夫し、生徒の基礎学力が定着する。	・家庭学習定着のための適切な課題や宿題の奨励 ・各種小テストでの基礎学力の向上 ・授業互見による授業改善 ・家庭学習時間調査の確実な実施	家庭学習時間調査 出席率 生徒アンケート	①意欲的に取り組んでいる生徒もいたが、全体としては学習習慣がまだ身につけていない生徒もおり、授業担当者や連携し学習意欲を高めるように取り組んだ。 ②施設、設備については導入後しばらくたち、目新しさがなくなったことから生徒評価が低くなった。	①授業、定期試験、検定対策等、生徒が計画的に学習に取り組む姿勢を身につけるよう対策を考える。 ②家庭での学習の様子を保護者から面談時に聞き、家庭学習への取り組みへの工夫と対策を考える。 ③ICT活用を推進する。 ④新教育課程の完成年度であり、観点別評価の完成に取り組み、シラバスについても統一したものを作成する。生徒アンケート及び授業互見の活性化により授業力向上を目指す。	3.0	B	A (3.1)	B	A	【高校入試、進路、教員不足について】 (1) 令和6年度本校の志願倍率は0.84倍で80名定員に対し71名。県西部では最も高い倍率だったが定員を下回ったことは努力不足だった。原因は①隔年現象②私立高校が前倒して入試方法を変えたこと③不登校生徒が増えていることがあげられる。(2) 進路について、専門学校への進学が多いと大学進学が増えている。県立大学浜田キャンパスもあるので、地元で大学で学び地元で就職する流れを作りたい。(3) 教員不足が深刻である。特に商業教員は令和5年度本校で1名欠員が生じているが、来年度は県全体でもっと増える可能性があり、危機感を持っている。商業教員の育成が急務である。 【重点目標との関連】 (2) について、昨年度に比べアンケート評価がアップしている。また、R5から人権教育実践モデル校となり力を入れておられる。Aで良いのでは。 (5) は浜商デパートの数値が高いのでAで良いのでは。アンケートの結果、ランドデザインのグラデュエーション・ポリシー（育てる生徒像）に関わる⑨～⑩の設問の評価が低く、「わからない」の割合も高かった。引き続き力を入れていくことが必要である。通学時の様子を見ていると(4)のあいさつは評価できる。長浜まちづくりセンターのトイレを借りに来る生徒も、きちんとあいさつできている。西浜田駅周辺利用のマネーも良い。配布される「浜商TOPICS」を見ると頑張っていると思う。 (5) について、コンソーシアムとして今年度地域で活動する浜商生徒は増えており、評価できる。Aで良いと思う。一方、コンソーシアムの活動が保護者には伝わっていないのかもしれない。また、特定の生徒だけが活動しているので、もっと広がれば良いと思う。まだ動き出したところ。 (6) について、今年度資格の取得状況は昨年度より補習にも力を入れ、合格率がアップした。 (7) について、教職員の評価がすべての項目で昨年度より下がっている。進路決定状況、進路実現はどうなっているか？→進路関係は3年生が主体になっている。1、2年生には教職員も含めて進路情報がそこまで出ていないので、「わからない」という結果になったのではないかと。3年生は志望する先に進路実現した。3年生の進路実現が叶っているのであれば、必要な情報は提供されていたということ。A評価で良いのでは。商業科教員になりたい生徒はどうしているか？→教員を希望する生徒は複数人いる。毎年1～2人出せるようにしたい。現在、商業教員を志望する者は、県外の大学へ進学している。 (8) について、保護者や地域にも「浜商TOPICS」を配布して情報提供している。コンソーシアムが作成したものは全校配布している。 (8) について、情報発信をする際はメディアを使ってほしい。IT商業研究部との打合せ予定がある。他にも郷土芸能部の神楽公演「椿咲く丘の舞い遊び」など活動の部分はよく見えているが、授業などその他は見えていない部分がある。また、2分のVTR撮影枠を確保しているので何かあれば申し出ていただきたい。(石見ケーブルビジョン) 新聞もしっかり活用してほしい。取材依頼があれば連絡いただきたい。(山陰中央新報) 浜田市内の県立学校へ進学する中学生が相当減っている。市内の県立学校を知る機会を増やしたい。「出前授業」等をしてもらえないか。高校生や教員と触れ合う機会があると良い。そうすればオーブンスクールに来やすくなり、そこで体験したことが進路決定のきっかけになる。
(2) PTA組織と連携し、生徒及び保護者の人権意識の高揚を図り、自他を大切にできる行動がとれる。	・生徒意識調査を活用しての実態把握 ・人権・同和教育HRの充実 ・差別に対する実践的態度の育成	生徒意識調査 行事振り返りアンケート	①「自他を尊重」した活動ができる生徒を育成するための指導機会を設けたが、継続的・横断的な指導に至らなかった。 ②生徒意識調査を通して把握したものの、活用方法については検討を要する。	①来年度は全校生徒がchromebookを使って一斉に生徒意識調査ができるが、信ぴょう性を保つために自宅での回答を継続する。 ②軽率な言動で互いを傷つけることがないように、自分の言動に責任を持つ姿勢を日々指導する。	3.1	A	B (2.8)	A	B	
(3) 部活動や生徒会活動を通して、主体性等の非認知能力を涵養し、自己の成長を実感し自信をもつ。	・生徒会の主体的活動への支援 ・部活動に対する意識の向上と支援	部活動加入率 学園祭等事後アンケート	①学習活動・部活動・行事などを通じ、生徒一人一人が自分で行動できるよう指導を行うことができた。 ②委員会の目立った活動が少なかった。	①生徒会（各委員会活動）への支援を強化する。 ②部活動が活発になるための支援を再考する。 ③学校行事等では生徒が話し合う機会を早めに確保し、教員はアドバイザーに徹する雰囲気作りに努める。	3.2	A	A (3.1)	A	A	
(4) 気持ちの良いあいさつ、身だしなみ等、ビジネスマナーを理解し大切にしたい行動がとれる。	・授業の開始と終了での挨拶の徹底 ・身だしなみ検査の実施	身だしなみ検査	①礼法指導は生徒部と連携し、月に1回全体で指導することができ、生徒教職員の共通認識を図ることができた。結果として廊下での挨拶や職員室の入退室で良き変容がみられた。	①「挨拶」等定期的な指導場面を設ける。 ②学年集会などを活用し、ルール・マナーの必要性について話し、生徒一人一人の自覚を高める指導が必要である。	3.2	A	A (3.1)	A	A	
(5) 地域との連携を深化させ、体験的な授業や活動をとらして地域理解を深め、地域貢献の精神を学ぶ。	・地域行事への積極的参加 ・浜商デパート等の販売実習の充実 ・課題研究の充実 ・生徒募集に繋がる魅力化事業の一環として、浜田市役所や県大との連携・交流	行事振り返りアンケート 魅力化アンケート	①浜商デパートでは初めて2日間開催を実施し、商業での学びをより深める経験を提供できた。商業の実践的な学びのなかで、地域資源を活用し、深化した商業教育の実践を行うことで生徒にとって有意義な活動となった。 ②先端機器を授業、学校行事、魅力発信で活用するとともに、地域と連携した本校でしか実践できない商業教育を実施することができた。	①「地域に信頼される」学校にふさわしい生徒の育成を継続して取り組む。 ②地域や保護者に確実に伝わるよう他分掌と協力し、魅力ある実践的な商業教育をより多くの方に認知させるよう取り組みを周知していく。	3.0	B	A (3.1)	A	A	
(6) 高度資格取得を含む資格取得に向けて、主体的・積極的に取り組む姿勢が身につく。	・検定の個別受験時の支援体制	検定合格率	①全商上級資格の受験者数と合格者数の増加を目標に、補習計画を実施した。昨年度に比べて上級資格への受験者数と合格者数が増え、補習に一定の成果がみられた。全検定試験で50%以上の達成できず、高い専門知識を主体的に学ぼうとする意識づけは不十分であった。	①全ての検定試験への興味関心や主体的に検定試験に挑戦するために日々の授業での声掛けやICT端末の活用方法、外部講師との連携を段階的に取り入れていく。	3.2	A	A (3.1)	A	A	
(7) 正しい生徒理解による、個別・最適な進路指導の支援を受け、進路実現を果たす。	・補習、各種模試、小論文指導、面接指導の効果的な実施 ・ハローワーク、支援センター、行政機関、就労・進学先等との連携 ・進路志望調査に基づく企業訪問、求人開拓、学校訪問の推進	就職内定率 進学合格率 行事振り返りアンケート	①各種進路行事、担任への情報提供等を通して、生徒が進路に関する意識を高める機会を作った。学年が上がるにつれて、特に3年生は受験を通して成長した姿が見られた。 ②各学年部、担任との情報共有を、時期を逃さず密にできると良かった。 ③地元企業セミナーや地元企業見学等の行事が、県内就職者の確保へつながった。 ④企業や上級学校からの情報が、生徒・保護者・教職員に十分に伝わらなかった。	①学年部と情報交換の場を頻回に持つ。特に3年生学年部へ時期に即した情報提供ができるよう、分掌の体制を整える。 ②担任と連携し、テストの事前指導等によって生徒の学習意欲向上を図る。生徒・保護者への情報発信の方法を検討する。	3.0	B	A (3.2)	A	A	
(8) 日々の学校行事や授業・部活動等の実施において、学校の魅力に関する十分な情報発信が行われる。	・ホームページの更新 ・浜商トピックスの発行 ・PTA会誌の充実を図る	PTA役員会の情報 同窓会の情報	①健康に関する情報提供は保健だより等で伝え、緊急性の高いものはメール配信をした。 ②浜商デパートの開催で商業高校としての魅力を発信することができた。	①HPでの情報発信の頻度を高めると同時に、情報が更新されたことがわかるような方法を模索していきたい。 ②人権学習の内容について、HPやお便り等で保護者にも周知を図る。	3.2	A	A (3.3)	A	A	
(9) 安全指導と危機管理を十分に行う。	・防災避難訓練の実施 ・安全点検の実施 ・救急法研修の実施 ・保健だよりの発行 ・スクールカウンセラーの活用 ・ゴミの減量化	保健室利用状況 行事振り返りアンケート	①火災、地震を想定して避難訓練を行った。生徒は概ね高い意識をもって訓練に参加している。いつ災害が起きてもおかしくない意識をしっかりと持たせたい。 ②コロナ禍を経験し、手指消毒や換気といった健康管理の重要性が浸透し、感染症が校内で蔓延することはなかった。	①校舎等は近年老朽化が著しく、大規模な修繕箇所が増えており対応に苦慮しているが、生徒の安全安心の確保と学習環境向上のために、積極的に予算要求するとともに、計画的な修繕に取り組む。	3.2	A	A (3.2)	A	A	
③総合的に見て、本校に入学して良かったと思いますか。			①生徒評価、保護者評価とも昨年同様概ね良い評価を得ることができた。	①進路実現や卒業に向け、単位（定期試験）や検定の取得について早めに意識付けと指導を行う必要がある。	3.3	A	A (3.2)	A	A	

評価基準 A(できている)=4.0≧3.1 B(だいたいできている)=3.0≧2.6 C(やや不十分である)=2.5≧2.1 D(不十分である)=2.0≧1.0 (4.0満点中)